



可児市ゼロカーボンシティ宣言

産業革命以降、人類は化石燃料の使用により高度成長を成し遂げ、私たちの生活は飛躍的に豊かなものとなりました。

その一方で、二酸化炭素の大量排出を主要因として地球温暖化を招き、近年、世界各地で記録的な猛暑や干ばつ、集中豪雨等の異常気象が発生し、甚大な被害を引き起こしています。

2021年8月の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書にも「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と明記されています。

この気候変動問題を引き起こしたのは私たち人間であること、人間にとって自然の恩恵は不可欠であることを改めて認識し、英知を絞って地球温暖化を食い止めなければなりません。

可児市は、製造業を中心に発展してきた背景があります。産業部門の温室効果ガス排出量は市全体の5割以上を占め、気候変動に少なからず影響を与えてきた事実があります。

その事実を重く受け止め、この先も、豊かな地球環境を将来世代につないでいくため、市民、事業者、他自治体等と連携して地球温暖化対策に取り組む、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

2022年7月5日

可児市長 富田 成輝